



永六輔さんの講演会 歴史に学び、今を生きる

第一部 永六輔さん 日本商業の発祥地・草戸千軒遺跡 その歴史的価値を永さんがひもとく

永 六輔 (えい ろくすけ) 1933年4月10日生、東京都浅草出身、早稲田大学文学部中退元放送作家で、タレント、作詞家、エッセイスト。本名は永孝雄(えい たかお)。中学の時、NHK ラジオ『日曜娯楽版』に投書をして以来ラジオ中心に作詞、テレビ、出版の仕事が続いている。生活の大部分は旅暮らしで、そこで感じた矛盾や感動を語り、書き、時には市民運動やボランティア活動を手伝っている。NHK 放送文化賞(1992)、都民文化栄誉賞(1994)、菊池寛賞(2000)、ギャラクシー賞(2008)受賞

ア
ク
ト

1959年～1966年にかけて中村八大とのコンビにより数々のヒット曲を飛ばし、特に坂本九が唄って大ヒットした上を向いて歩こうがアメリカ合衆国でスキヤキ・ソングとタイトルを変えビルボードのデイリーチャートで1位に輝くという金字塔を打ち立てている。しかしラジオの活動に重きをおくようになった1967年以降は作詞活動から後退し、1966年に夢であいましょうが終了すると活躍の場をラジオに求め、翌年の1967年に誰かとどこかでがスタートするが、TBSラジオ以外のラジオ局では定時番組での仕事をしたことがない。テレビ番組の出演は、テレビ朝日の「徹子の部屋」、よみうりテレビの「遠くへ行きたい」、NHKの「視点・論点」、山梨放送の旅番組、朝日ニュースターの「痛快!おんな組」、そして不定期にあるドキュメンタリー番組の案内人しかテレビ出演をしないとされている。生活文化として江戸の文化・風俗を再評価させたり、在野の芸人を世間に紹介したり、絶滅の危機に瀕していた尺貫法を再び世間に認知させたり、日本人の感覚では常識という考えが同じ日本に住むいわゆる在日の人々にしてみれば侮辱であると主張していた事など、大抵の人々が関心を持たない事を取り上げた事で一部の人々の間では評価が高い。1994年には『大往生』を発表。日本のあちこちの無名の人々の生、死に関する様々な名言を集めたこの本は、200万部を超える大ベストセラーとなる。

第二部 井戸端会議 中世夢が原、鞆の浦、そして祝島

中世夢が原代表・鞆まちづくり工房代表・祝島島民の会代表

田舎や過疎地を犠牲にして便利さだけを追及してきた戦後の日本。しかしそこには千年以上続く歴史と文化と生活がある。いま我々はその歴史と文化に学び、自らの生き方を考え、これからの日本の行く道を選ばなければならない。岡山県井原市美星町に中世の生活を再現したテーマパーク中世夢が原、広島県福山市鞆町に万葉の時代からの潮待ちの港として栄えた鞆の浦、山口県熊毛郡上関町祝島に万葉の時代から美しく豊かな瀬戸内海とともに生きてきた人々の生活、それらが今存亡の危機に瀕しています。市町村合併による合理化の波で、景観を破壊する架橋問題で、環境破壊と放射能汚染をもたらす原子力発電所の建設計画で、歴史と文化と生活が破壊されようとしています。

司会進行

ふじ内科クリニック(甲府市)院長:内藤いづみ ちょう外科医院(福山市)院長:数野 博

日時:2009年10月18日(日) 午後2時～4時

場所:福山市医師会館 5階講堂(福山市三吉町南二丁目11番25号 ポートプラザから徒歩5分)

木戸銭:前売り1000円(689円+チャリティ311円)

当日1500円(689円+チャリティ811円)

主催:今を生きる歴史の会 共催:びんご・生と死を考える会

後援:広島県保険医協会、福山市医師会、エフエムふくやま

申し込み・問い合わせ先:〒720-0815 福山市野上町3-4-30 ちょう外科医院(数野)

電話 084-923-2643 FAX 084-923-1466 E-mail chabin@saturn.dti.ne.jp